



研究校 **長野市立信更小学校**

共同研究者 **大畑健二**（信州大学 准教授）

テーマ

子どもが学びの推進者となるための授業づくり

全校児童14名とつくりだす実践

子どもが学びの推進者となるための授業づくりに職員一丸となって取り組んできました。新年度から全校給食、教科担任制、教科教室の設置等の改善を行い、子どもによる学校会議（「わくわく会議」）から、子どもの願いを反映させるために教育活動全体をブラッシュアップしてきました。

一学期では、運動会は体育の授業の発展であることを子どもたちと話し合うことから始めました。子どもたちはやってみよう運動について話し合ったり実際に試したりしながら推進者として運動会に参画しました。そして、種目やテーマを私たち教師とともに決め出し、「仲間たちと創り上げる世界一の運動会」を成功させました。

日々の授業では複式学級や单元内自由進度学習等の授業形態、児童による時間割の作成など、小規模校・少人数学級の強みを活かした指導の工夫にも取り組んできました。学習の目的に応じて学習方法を自ら決定する機会を大切にすることで、子どもたちは得意不得意に気付き、自己理解を深めながら、「できた!」「次はこうするぞ」と自信をもって学習に取り組むことができました。

夏休みの校内研修では、共同研究者の大畑先生と一緒に一学期の実践を振り返りました。「心に残る子どもの姿」「授業で大切にしたいこと」など同僚と互いの価値観を語り、対話を重ねていく機会をもちました。同僚と子どもの学びや教師のかかわりについて語り合うことで2学期の実践に期待が膨らみました。また、一人一人の学びを保証していく授業には、子どもの問いをもとに自ら選択したり決定したりする自己調整学習を位置付けていくことや「教師」としての学びを深める必要があることがわかってきました。

今回は、学年の枠をこえた異年齢集団での全校授業を体育科で実践します。小規模校の強みを活かし、一人一人の学びの充実のための学習環境の工夫を通して、とことん運動に親しみながら全校の仲間と豊かな学びを推進していく子どもたちの姿を見ていただければと思います。



共同研究者 大畑先生から

信更小の子どもたちは、先生たちと輪になって学校の問題、地域の課題、そして授業のあり方さえ話し合う。あらためて「学校とは何か」について全校児童14名の小規模校で起きているこの教育実践から参加者の皆さまとともに考えたいと思います。

～日程～

- ① 開会式 10:40～10:50
- ② 研究説明 10:50～11:15
- ③ 公開授業 11:30～12:15
- ④ 昼食 12:15～13:15
- ⑤ 授業研究会 13:15～14:15
- ⑥ ラウンドテーブル
14:15～15:00
「わくわく信更会議」
- ⑦ 閉会式 15:15～15:25